

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-111036

(P2004-111036A)

(43) 公開日 平成16年4月8日(2004.4.8)

(51) Int.Cl.⁷

G 1 1 B 27/10

G 1 1 B 20/10

F I

G 1 1 B 27/10

A

G 1 1 B 20/10

3 2 1 Z

テーマコード (参考)

5 D O 4 4

5 D O 7 7

審査請求 未請求 請求項の数 20 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2003-322848 (P2003-322848)
 (22) 出願日 平成15年9月16日 (2003.9.16)
 (31) 優先権主張番号 2002-55624
 (32) 優先日 平成14年9月13日 (2002.9.13)
 (33) 優先権主張国 韓国 (KR)

(71) 出願人 596066770
 エルジー エレクトロニクス インコーポ
 レーテッド
 大韓民国 ソウル ヨンドンボク ヨード
 ードン 2 O
 (74) 代理人 100068618
 弁理士 粂 経夫
 (74) 代理人 100104145
 弁理士 宮崎 嘉夫
 (74) 代理人 100109690
 弁理士 小野塚 薫
 (74) 代理人 100093193
 弁理士 中村 壽夫

最終頁に続く

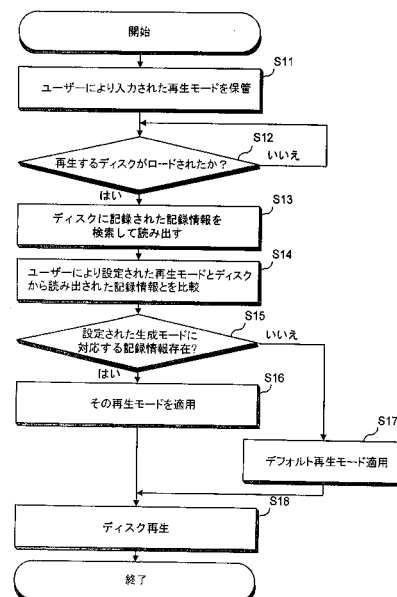
(54) 【発明の名称】 光ディスクプレーヤーとその再生制御方法

(57) 【要約】

【課題】 所定の再生モードを設定できる光ディスクプレーヤーとその再生制御方法を提供する。

【解決手段】 光ディスクプレーヤーにロードされたディスクに対する再生モードを設定し、設定された再生モードを保管する(S11)。ディスクに記録された記録情報を検索して読み出し(S13)、ユーザーにより設定された再生モードと読み出された記録情報とを比較して(S14)、設定された再生モードに対応する記録情報が存在するかどうかを判別する(S15)。この結果、ユーザーが設定した再生モードに対応する記録情報が存在すれば、その対応する記録情報を選択し(S16)、選択された記録情報に基づいて光ディスクの再生を実行する(S18)。これによって、光ディスクプレーヤーに連続的にロードされた再生される光ディスクごとに、その都度所望の再生モードを設定する苦勞が低減する。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光ディスクプレーヤーにユーザーメニュー中の再生モードを設定する第 1 段階と、
前記設定された再生モードを保管する第 2 段階と、
前記保管された再生モードに従って、ディスクに記録された情報を読み出して再生する
第 3 段階と、
を含んで構成されることを特徴とする光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 2】

前記保管された再生モードと前記ディスクから読み出された再生モードに関する記録情報とが一致する場合、前記保管された再生モードに従って前記ディスクに記録された情報の読み出しと再生動作とが実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。 10

【請求項 3】

前記ユーザーメニューには、字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットに各々関連した少なくとも一つの再生モードが含まれることを特徴とする請求項 2 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 4】

前記保管された再生モードと前記ディスクから読み出された再生モードに関する記録情報とが一致しない場合、前記ディスクに記録された情報の読み出しと再生動作とは、ディスクに設定されたデフォルト再生モードに従って実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。 20

【請求項 5】

前記保管された再生モードは、前記設定された再生モードに対応する所定のコード値であることを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 6】

前記ディスクに記録されている記録情報は、少なくとも一つの字幕用言語、少なくとも一つの音声用言語、及び少なくとも一つのオーディオフォーマットと各々関連した少なくとも一つの再生モードに対する記録情報に該当する情報を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 7】

前記ディスクに記録されている記録情報は、所定のコード値に対応する値を有すること
を特徴とする請求項 6 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。 30

【請求項 8】

前記再生モードを設定することは、前記再生モードのユーザーによる選択を含み、
前記ユーザーによる選択は、遠隔装置または光ディスクプレーヤーのデータ入力装置を通じて実行されることを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 9】

前記設定された再生モードは、再取得可能なように前記光ディスクプレーヤーに保管されることを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。 40

【請求項 10】

前記第 3 段階は、
前記光ディスクプレーヤーに第 1 ディスクをロードする段階と、
前記保管された再生モードに従って、前記第 1 ディスクに記録された対応する情報を再生する段階と、
前記光ディスクプレーヤーに第 2 ディスクをロードする段階と、
前記格納された再生モードに従って、前記第 2 ディスクに記録された対応する情報を再生する段階と、
を含んで構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。 50

【請求項 1 1】

D V D プレーヤーに所定の再生モードを設定する第 1 段階と、
前記設定された再生モードに従って、連続的にロードされる複数のディスクに記録された情報を再生する第 2 段階と、
を含んで構成されることを特徴とする D V D プレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 2】

前記所定の再生モードには、字幕用言語、音声用言語、またはオーディオフォーマットが含まれることを特徴とする請求項 1 1 に記載の D V D プレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 3】

前記所定の再生モードを設定することは、前記再生モードのユーザーによる選択を含み
、
前記ユーザーによる選択は、遠隔装置または D V D プレーヤーのデータ入力装置を通じて実行されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の D V D プレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 4】

前記設定された再生モードは、再取得可能なように前記 D V D プレーヤーに保管されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の D V D プレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 5】

前記第 2 段階は、
前記 D V D プレーヤーに第 1 ディスクをロードする段階と、
前記設定された再生モードに従って、前記第 1 ディスクに記録された対応する情報を再生する段階と、
前記 D V D プレーヤーに第 2 ディスクをロードする段階と、
前記設定された再生モードに従って、前記第 2 ディスクに記録された対応する情報を再生する段階と、
を含んで構成されることを特徴とする請求項 1 1 に記載の D V D プレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 6】

前記第 1 ディスクと前記第 2 ディスクとは、同一のディスクであることを特徴とする請求項 1 5 に記載の D V D プレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 7】

光ディスクプレーヤーにユーザーメニュー中の再生モードを設定する第 1 段階と、
前記光ディスクプレーヤーにロードされる二つまたはそれ以上ディスクに対して使用するために、前記設定された再生モードを再取得可能なように前記光ディスクプレーヤーに保管する第 2 段階と、
を含んで構成されることを特徴とする光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 8】

前記設定される再生モードには、字幕用言語、音声用言語、またはオーディオフォーマットが含まれ、前記再生モードを設定することは、前記再生モードのユーザーによる選択を含み、前記ユーザーによる選択は、遠隔装置または光ディスクプレーヤーのデータ入力装置を通じて実行されることを特徴とする請求項 1 7 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 1 9】

前記保管された再生モードに従って、ディスクに記録された情報を読み出して生成する第 3 段階をさらに含んで構成されることを特徴とする請求項 1 7 に記載の光ディスクプレーヤーの再生制御方法。

【請求項 2 0】

光ディスクプレーヤーにユーザーメニュー中の再生モードを設定する手段と、
前記光ディスクプレーヤーにロードされる二つまたはそれ以上のディスクに対して使用するために、前記設定された再生モードを再取得可能なように前記光ディスクプレーヤーに保管する手段と、

を含んで構成されることを特徴とする光ディスクプレーヤー。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、光ディスクプレーヤーとその再生制御方法、特にデジタル多機能ディスク（DVD：Digital Versatile Disc）プレーヤーにおける再生制御方法に関する。 10

【背景技術】

【0002】

一般的に、DVDプレーヤーは、DVD、HD-DVDなどの光ディスクに記録されているデータを再生するものである。このようなディスクは、ディスクの種類に応じて少なくとも一つの字幕用言語や音声用言語を含み、ユーザーが選択した言語のデータを再生できる。また、このようなディスクは、多様なオーディオフォーマット（audio format）も含み、ユーザーは、ディスクプレーヤーの仕様に合った所望のオーディオ再生モードを選択できる。

【0003】

20

従来のDVDプレーヤーは、光ディスク上に記録された字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットに関して、光ディスクの製造時に固定された記録情報に基づいて自動的に設定されるデフォルト再生モードで、光ディスクを再生するものである。このため、デフォルト再生モードではない他の再生モードで光ディスクを再生する場合、ユーザーは、再生モードをデフォルト再生モードから変更するために、所望の再生モードに関する記録情報を検索しなければならない。しかし、このような操作は非効率的で、時間が浪費され、不便である。したがって、光ディスクプレーヤーにおいて、デフォルト再生モードを制御する方法が長く望まれてきた。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

30

【0004】

本発明の目的は、少なくとも上述した問題点を解決して、少なくとも以下に説明される利点を提供することである。

【0005】

本発明の他の目的は、所定の再生モードを設定できる光ディスクプレーヤーとその方法を提供することである。

【0006】

本発明の他の目的は、ユーザーが所望の再生モードを設定でき、設定された再生モードに従って光ディスクを再生するように制御できる光ディスクプレーヤーとその再生制御方法を提供することである。 40

【課題を解決するための手段】

【0007】

以上のような目的を達成するために、本発明に係る光ディスクプレーヤーの再生制御方法は、光ディスクプレーヤーにユーザーメニュー中の再生モードを設定する第1段階と、前記設定された再生モードを保管する第2段階と、前記保管された再生モードに従って、ディスクに記録された情報を読み出して再生する第3段階とを含んで構成されることを特徴とする。

【0008】

また、本発明に係るDVDプレーヤーの再生制御方法は、DVDプレーヤーに所定の再生モードを設定する第1段階と、前記設定された再生モードに従って、連続的にロードさ 50

れる複数のディスクに記録された情報を再生する第２段階とを含んで構成されることを特徴とする。

【０００９】

また、本発明に係る光ディスクプレーヤーの再生制御方法は、光ディスクプレーヤーにユーザーメニュー中の再生モードを設定する第１段階と、前記光ディスクプレーヤーにロードされる二つまたはそれ以上ディスクに対して使用するために、前記設定された再生モードを再取得可能なように前記光ディスクプレーヤーに保管する第２段階とを含んで構成されることを特徴とする。

【００１０】

また、本発明に係る光ディスクプレーヤーは、光ディスクプレーヤーにユーザーメニュー中の再生モードを設定する手段と、前記光ディスクプレーヤーにロードされる二つまたはそれ以上のディスクに対して使用するために、前記設定された再生モードを再取得可能なように前記光ディスクプレーヤーに保管する手段とを含んで構成されることを特徴とする。 10

【発明の効果】

【００１１】

以上のように、本発明によれば、ユーザーにより選択された再生モードによって、多様な種類の光ディスクに対する再生動作を実行できる光ディスクプレーヤーとその再生制御方法を提供することが可能となる。ユーザーは、光ディスクに記録された字幕用言語、音声用言語、オーディオフォーマットのような再生モードを選択して設定できるため、光ディスクごとに、その都度所望の再生モードを設定する苦勞が低減される。 20

【発明を実施するための最良の形態】

【００１２】

以下、本発明に係る好適な一実施形態を、添付された図面を参照しながら説明する。一般的なDVDプレーヤーは、光ディスク上に記録された字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットに関して、光ディスクの製造時に固定された記録情報に基づいて自動的に設定されるデフォルト再生モードで、光ディスクを再生するものである。すなわち、光ディスク上に記録された複数の再生モードのうち最上位のモードが選択され、デフォルト再生モードとして設定される。したがって、DVDプレーヤーのデフォルト再生モードは、ロードされた光ディスクに応じて変更される。光ディスクがイジェクトされた後に再ロードされた場合にも、DVDプレーヤーは、同一のデフォルト再生モードで再生動作を実行する。このため、デフォルト再生モードではない他の再生モードで光ディスクを再生する場合、ユーザーは、所望の再生モードに関する記録情報を検索して、デフォルト再生モードから検索された所望の再生モードに、再生モードを変更しなければならない。しかし、このような操作は時間を浪費して不便である。さらに、上述したように、特定のディスクに対して所望の再生モードを設定しても、このディスクが再ロードされる場合には、この再生モードを再び設定しなければならない。 30

【００１３】

上述したように、光ディスクは、ディスクごとに各々異なるデフォルト再生モードを有している。例えば、ディスク１の字幕用言語は日本語／韓国語／英語の順序、ディスク２の字幕用言語は韓国語／英語／日本語の順序、ディスク３の字幕用言語は英語／韓国語／日本語の順序、ディスク４の字幕用言語は英語／日本語／韓国語の順序にそれぞれなっている場合、各ディスクのデフォルト再生モードは各ディスクの最上位の再生モードに設定されるため、各ディスクごとにデフォルト再生モードは異なっている。 40

【００１４】

したがって、ディスク１の字幕は日本語、ディスク２の字幕は韓国語で再生される。また、ディスク３とディスク４の字幕は、字幕用言語の順序は違っているが、共に英語で再生される。字幕用言語の設定に用いられるのと同様のデフォルト再生モードの設定方法が、音声用言語とオーディオフォーマットの設定にも適用される。

【００１５】

これらのディスク1からディスク4までの例と関連させて、このような従来の動作をさらに詳細に説明する。光ディスクプレーヤーは、光ディスクから再生されるデフォルトの再生言語を、光ディスク上に記録された言語の順序のみに基づいて自動的に決定するため、ディスク1の場合は日本語、ディスク2の場合は韓国語、ディスク3及びディスク4の場合は英語が、デフォルトの再生言語となる。したがって、ディスク1の再生動作に続いてディスク2が再生される場合、デフォルトの再生言語は日本語から韓国語に変更される。このため、ユーザーが何枚かの光ディスクを同じ字幕用言語で再生したい場合、ディスクがロードされるごとにディスク上に記録された字幕用言語を検索し、検索された字幕用言語から選択した所望の字幕用言語にディスクの再生モードを設定する必要があるという不便さが存在する。

10

【0016】

さらに、光ディスクが再生後にイジェクトされた場合、ユーザーにより設定された字幕用言語の値は消去される。したがって、その光ディスクが再ロードされた場合、再生のための字幕用言語は、デフォルトの字幕用言語に自動的に設定される。例えば、ディスク1で再生される字幕用言語が韓国語に設定されたとしても、再ロード後には、デフォルト言語である日本語で再生される。

【0017】

本発明の好適な実施形態における再生制御方法が適用されるDVDプレーヤーの構成を図1に示す。図1に示すように、このDVDプレーヤーは、光ディスク17上に記録されているデータを、好ましくはRF(Radio Frequency)信号の形式で読み出す光ピックアップ10と、光ピックアップ10から読み出されたRF信号を処理してバイナリ信号として出力するRF処理部11と、RF処理部11から出力されたバイナリ信号を処理してビデオ信号及びオーディオ信号を生成し、生成されたビデオ信号及びオーディオ信号をディスプレイに出力する信号処理部12と、マイクロコンピュータ14とを含んでいる。マイクロコンピュータ14によって、DVDプレーヤーの全般的な動作を含む、各種の動作を制御することができる。例えば、マイクロコンピュータ14は、DVDプレーヤーの再生動作を制御する間に、字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットなどに関して、光ディスク上に記録された記録情報からユーザーが選択して設定した再生モードに対応する記録情報に基づいて、信号処理部12の動作を制御する。DVDプレーヤーには、メモリー15及びサーボユニット13も含まれる。メモリー15は、好ましくはマイクロコンピュータ14の制御動作のために必要な情報及びデータを保管すると共に、ユーザーが所望の再生モードを選択して設定できるようにするために、再生モードのコードを保管するものである。サーボユニット13は、光ピックアップ10を移動させるスレッドモーターや光ディスクを回転させるスピンドルモーターを制御すると共に、光ピックアップ10に対するトラッキング制御及びフォーカシング制御を実行する。

20

30

【0018】

図1に示すように構成された本発明に係るDVDプレーヤーでは、ユーザーが、所望の再生モード、すなわち所望の字幕用言語、音声用言語、オーディオフォーマット等を設定することができる。したがって、このDVDプレーヤーは、例えば、字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットに関して、光ディスク上に記録された記録情報からユーザーが選択して設定した再生モードに対応する記録情報に基づいて、ロードされた光ディスクを再生することができる。

40

【0019】

図2は、本発明に係る再生制御方法の好適な実施形態を示したフローチャートである。図2に示した再生制御方法を、図1に示したDVDプレーヤーに適用することができる。しかし、本発明は、この例に限定されるものではなく、光ディスクプレーヤーまたは光ディスクリーダー(Reader)のような他の装置にも適用することができる。

【0020】

本発明に係る再生制御方法において、処理が開始すると、まず、ユーザーは、字幕用言語、音声用言語、またはオーディオフォーマットなどの再生モードをDVDプレーヤーに

50

入力する。マイクロコンピュータ14は、入力された再生モードをコードデータに変換し、そのコードデータを管理するために、好ましくはメモリー15に保管する(S11)。

【0021】

ユーザーは、再生モードを、例えばオンスクリーンディスプレイ(OSD: On Screen Display)等を通して設定することができる。しかし、本発明は、この例に限定されるものではなく、例えば、ユーザーまたは適当な装置もしくは方法により、アプリケーションプログラム、ディスクプレーヤー、または遠隔装置で再生モードを設定することもできる。

【0022】

一般的に、光ディスクには、複数の字幕用言語、複数の音声用言語、または複数のオーディオフォーマットなどを含む、記録されたデータに関する記録情報が、製造時に記録されている。しかし、本発明は、この場合に限定されるものではない。例えば、この記録情報は、ディスクの製造以後に記録されたり再記録されたりする場合もある。

【0023】

図3は、図2に示した再生制御方法に従ってユーザーにより設定される再生モードを含むユーザーメニューと、典型的には光ディスクの製造時に記録される記録情報を例示的に示したものである。図3に示したように、ユーザーメニューの再生モードは、例えば字幕用言語は日本語(コード番号は“0001”)、音声用言語は韓国語(コード番号は“1002”)、そしてオーディオフォーマットは低音を強調するための6チャンネル方式に設定することができる。

【0024】

光ディスクに記録された記録情報は、字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットのメニューを含んでいる。例えば、字幕用言語のメニューは日本語(コード番号“0001”)、韓国語(コード番号“0002”)、中国語(コード番号“0003”)、英語(コード番号“0004”)などを含み、音声用言語のメニューは日本語(コード番号“1001”)、韓国語(コード番号“1002”)、中国語(コード番号“1003”)、英語(コード番号“1004”)を含み、オーディオフォーマットのメニューは2チャンネル方式(コード番号“2001”)、6チャンネル方式(コード番号“2002”)、またはDTS(Digital Theater System)方式(コード番号“2003”)などを含んでいる。しかし、本発明は、この例に限定されるものではなく、記録情報に他の設定を含めることができる。

【0025】

ユーザーにより設定された再生モードのコード値すなわちコード番号は、保管されて管理される。マイクロコンピュータ14は、ディスク再生命令が入力されると、再生するディスクがロードされたか否かを確認する(S12)。ディスクがロードされたことが確認されると、マイクロコンピュータ14は、上述したようにディスクに記録された記録情報を検索して読み出す(S13)。

【0026】

続いて、マイクロコンピュータ14は、ユーザーにより設定された再生モードと読み出された記録情報とを比較して(S14)、設定された再生モードに対応する記録情報が存在するか否かを判別する(S15)。

【0027】

再生モードと記録情報に関する比較及び判別動作は、好ましくは各再生モードに対して個別に実行され、各再生モードに対応する記録情報が存在するか否かが判別される。例えば、ユーザーにより設定された字幕用言語の項目に関する再生モードが日本語(コード番号“0001”)であるため、字幕用言語の項目に関して光ディスクから読み出された記録情報に日本語に対応するコード(コード番号“0001”)が存在するか否かを判別する。この判別後、好ましくは、音声用言語及びオーディオフォーマットの項目のそれぞれに関してユーザーが設定した再生モードに対応する記録情報が存在するか否かを比較判別する。しかし、本発明は、この例に限定されるものではない。

10

20

30

40

50

【0028】

そして、上記比較及び判別（S15）の結果、ユーザーが設定した再生モードのいずれかに対応する記録情報が存在すれば、その対応する記録情報を選択し（S16）、選択された記録情報に基づいて光ディスクの再生を実行する（S18）。例えば、図3に示したように、字幕用言語は日本語、音声用言語は韓国語、及びオーディオフォーマットは6チャンネル方式で再生される。

【0029】

一方、上記比較及び判別（S15）の結果、ユーザーが設定した再生モードのいずれにも対応する記録情報が存在しなければ、光ディスクにデフォルトとして設定された再生モードに対応する記録情報を選択し（S17）、選択された記録情報（デフォルト）に基づいて光ディスクの再生を実行する（S18）。 10

【0030】

一般的に、光ディスクに記録された記録情報には、字幕用言語、音声用言語、及びオーディオフォーマットのような各メニュー項目に関して、光ディスクの製造時に記録された一つ以上の再生情報が含まれる。したがって、図3に示したように、各メニュー項目に対して一つ以上の再生モードが検索される。一般的に、検索された再生モードのうち最上位の再生モードがデフォルトとして決定され、このデフォルト再生モードに基づいて、光ディスクの再生動作が実行できる。

【0031】

さらに、あるメニュー項目には、ユーザーが設定した再生モードに対応する記録情報が存在するが、他のメニュー項目には対応する記録情報が存在しない場合がある。この時、対応する記録情報が存在する項目に対してはユーザーにより設定された再生モード、及び対応する記録情報が存在しない項目に対してはデフォルトの記録情報に基づいて、光ディスクが再生される。 20

【0032】

また、アプリケーションプログラム、遠隔装置、またはユーザーにより設定された再生モードが無効またはサポートされていない場合、好ましくは、再生動作においてデフォルトの記録情報が使用される。例えば、ユーザーにより字幕用言語は日本語、音声用言語は日本語、そしてオーディオフォーマットは6チャンネル方式に設定されており、字幕用言語には日本語があり音声用言語にも日本語があるが、オーディオフォーマットには6チャンネル方式がサポートされていない光ディスクが挿入された場合、この光ディスクは、字幕用言語と音声用言語は設定された再生モードに基づいて、そしてオーディオフォーマットはデフォルトに基づいて再生される。 30

【0033】

本発明に係る再生制御方法の好適な実施形態では、例えば図4に示したように、字幕用言語のコードをDVDプレーヤーに表形式で表示（及び保管）でき（例えば、オンスクリーンディスプレイ）、その表からユーザーが所望の字幕用言語を選択して指定することができる。あるいは、図4に示すコードはユーザーに表示されないようにすることもできる。ユーザーが所望の字幕用言語、例えば日本語（JPN）を選択して指定した場合、それ以後ロードされるすべての光ディスクに対して、日本語に対応するコード“0001”が字幕用言語として自動的に指定される。したがって、ユーザーによって変更されるまで、現在のディスク及び以後に続けてロードされるディスクに対して、字幕用言語は自動的に日本語で再生される。しかし、本発明は、この場合に限定されない。 40

【0034】

すなわち、図4に示すように、ディスク1にデフォルトの字幕用言語として韓国語（KOR）が設定されているとしても、このDVDプレーヤーは、ユーザーが以前に指定したコード“0001”に対応する日本語の字幕用言語を再生する。また、ディスク2にデフォルトの字幕用言語として英語（ENG）が設定されているとしても、このDVDプレーヤーは、ユーザーが以前に指定したコード“0001”に対応する日本語の字幕用言語を再生する。したがって、このDVDプレーヤーは、各ディスクにどんな字幕用言語がデフ 50

ォルトとして設定されているかに関係なく、ユーザーにより指定された字幕用言語で光ディスクを再生する。他の種類の光ディスクがロードされる場合にも、ユーザーにより指定された特定の字幕用言語を自動的に再生できる。また、光ディスクが再ロードされても、指定された字幕用言語を再生できる。

【0035】

字幕用言語と同様に、特定の音声用言語及び特定のオーディオフォーマットを指定することによって、他の種類の光ディスクがDVDプレーヤーにロードされる場合にも、指定された特定の音声用言語及び特定のオーディオフォーマットを自動的に再生できる。同様に、字幕用言語のメニューには設定された再生モードに該当する字幕用言語が存在するが、音声用言語のメニューには設定された再生モードに該当する音声用言語が存在しない場合、字幕用言語及び音声用言語の再生は、字幕用言語はユーザーが設定した再生モードに該当する字幕用言語を再生し、音声用言語はその光ディスクの最上位の音声用言語に該当するデフォルトの音声用言語を再生することによって実施できる。

10

【0036】

以上、上述した本発明の望ましい実施形態は、例示の目的のために開示されたものである。当業者ならば添付された特許請求の範囲に開示された本発明の技術的思想とその技術的範囲内で多様な他の実施形態を改良、変更、代替、または付加することが可能である。

【図面の簡単な説明】

【0037】

20

【図1】本発明の好適な実施形態地における再生制御方法が適用されるDVDプレーヤーの構成を示すブロック図である。

【図2】本発明に係る再生制御方法の好適な実施形態を示すフローチャートである。

【図3】本発明において、ユーザーにより設定される再生モードを含むユーザーメニューと、光ディスクに記録された記録情報とを例示的に示す図である。

【図4】本発明において、DVDプレーヤー内に保管されたユーザーメニュー中の字幕用言語に該当する各DVDの字幕用言語が選択される例を示す図である。

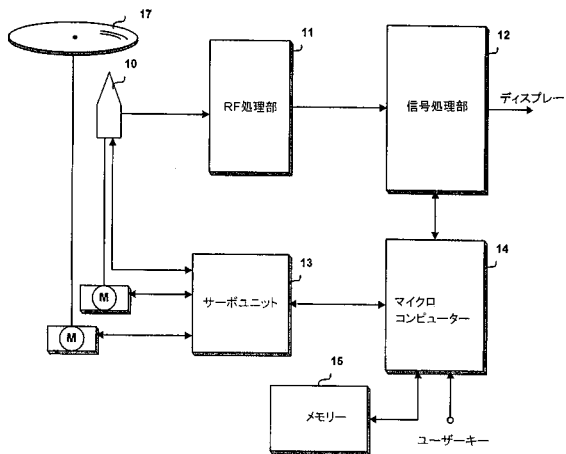
【符号の説明】

【0038】

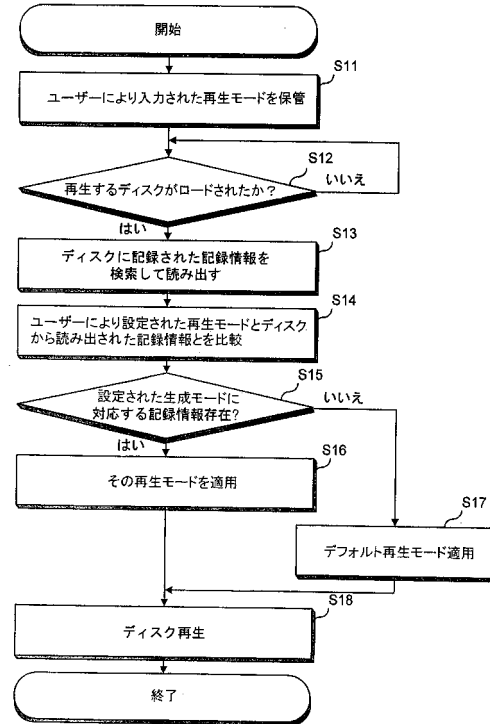
- 10 光ピックアップ
- 11 RF部
- 12 信号処理部
- 13 サーボ部
- 14 マイコン
- 15 メモリー
- 17 光ディスク

30

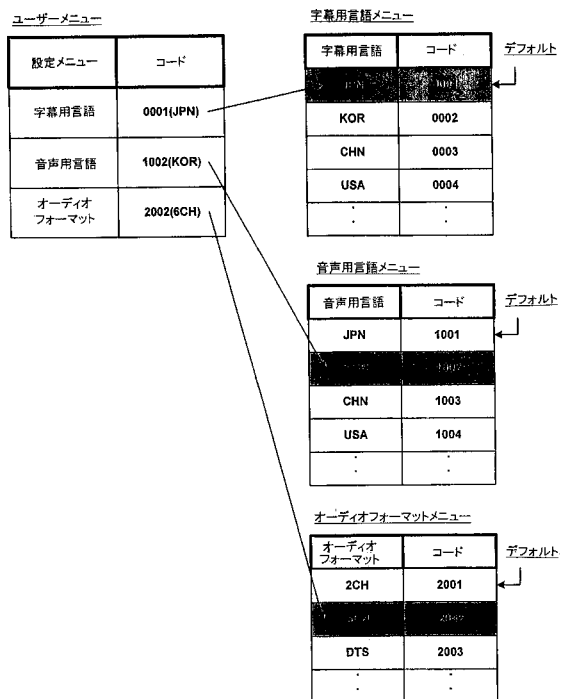
【図 1】



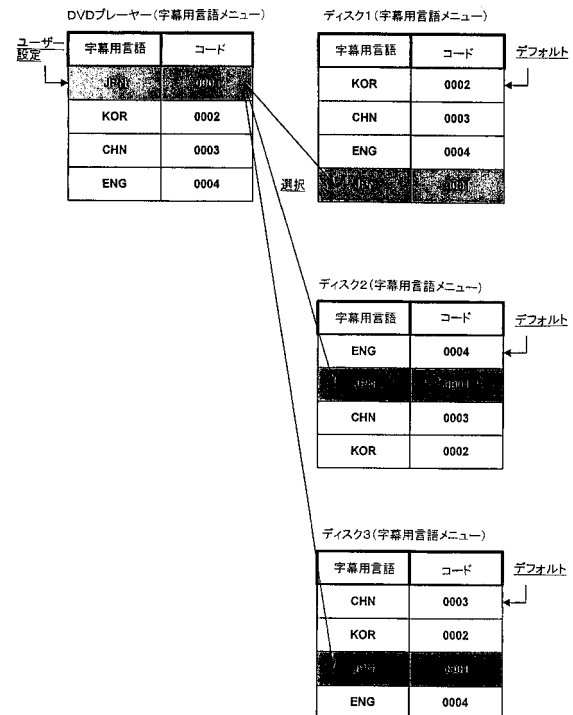
【図 2】



【図 3】



【図 4】



フロントページの続き

(72)発明者 ハン ギュミン

大韓民国 403-102 インチョン-シ ブピョン-グ ブゲ 2-ドン 103-17

Fターム(参考) 5D044 BC03 CC06 DE18 FG18 GK12

5D077 AA23 BA18 EA34

【要約の続き】